ロータリーは機会の扉を開く

RI会長：ホルガー・クナーク
Herzogtum Lauenburg-Mölln RC

国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日



会長 木村 利晴 ・ 会長エレクト 笹川 英一 ・ 副会長 竹村 信彦 ・ 幹事 竹村 信彦

第55巻 第17号 通巻 第2604号 2020.12.23発行

第2603回 2020年12月16日例会報告

【出席報告】 SAA 伊藤 武雄

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
12/16	29	24	5	82.76		
12/ 2	30	24	6	80	1	83.33

会員総数 30名
（ 名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 4名 ）
通算出席率 90.16%

点 鐘 会長 木村 利晴

ソ ン グ 手に手つないで

お 客 様 金親 博栄様(千葉南RC)
出井 清様 (千葉南RC)
並木孝治様(東金RC)

【ニコニコボックス】

◇金親さん出井さんようこそいらっしゃいました。
高橋 宏一会員

◇孫が黎明高校で推薦を頂き希望の大学へ入学できることが決まりました。 高橋 宏一会員

◇久しぶりに八街RCへメーキャップさせて頂きます。 出井 清様、金親 博栄様(千葉南RC)

【会長挨拶】 会長 木村 利晴



皆さん、こんにちは！本日は、千葉南クラブより金親様、出井様、東金クラブより並木様がメイキャップで来られております。後ほど金親様より千葉南クラブと第4グループの問題についてお話頂ければと思っております。宜しくお願い致します。

今年も残すところ2週間となりました。例会も来週で今年最後となります。例年ですと、クリスマス例会として夜間例会でしたが、コロナ禍で感染者が増加傾向にある現在、3蜜での飲食を伴う会食はなるべく避けようとの意見が多くありましたのでご理解下さい。コロナウイルスに打ち勝つための3原則ということで、ロータリーボイスに掲載されていた記事がありましたので、ご紹介致します。寄稿者は、第9212地区のジョー・オテインガバナーです。

私たちの人生で世界が一転するほどの決定的な瞬間があるとすれば、まさに今がそれに当たります。人類の運命を世界的に変えた第二次世界大戦を生き抜いてきた方々が、私たちの一つ前の世代でした。歴史上、先人たちは耐え難い経済崩壊や壊滅的な武力戦争、気候の大変動など、絶望や死、破滅をもたらす衝撃的な出来事に直面してきました。

この様な過去の出来事は、私たちが行動方法を見直し、既存の制度を再構築し、生き方を変えるきっかけとなってきました。

新型コロナウイルスによる人類への影響はとてつもなく大きいものです。中国での最初の発生から今日に至るまで、統計が示すように、新型コロナウイルスの世界的拡大阻止を狙った各国政府による

初期対応が十分ではなく、世界は今まさにその対応に追われています。ここ東アフリカでも、国境封鎖や国内感染者の外出禁止、市民集会の中止など、ウイルス拡大に歯止めをかけようと各国政府が前例のない対策を講じています。

人類史における決定的瞬間の特徴を成すのは、危機の性質ではなく、むしろその時に人間が下す判断の適切性であると言えます。各国の政治指導者たちが感染拡大阻止のために思い切った対策を講じ始める中、私たちロータリーも独自に判断していかなければならないことがあります。これらの判断は、次の3つのシンプルな原則に基づいています。

・第一に、この疾病に最も大きな影響を与えるのは一人ひとりの行動であること。これには、個人の衛生習慣、ソーシャルデイスタンス（人との物理的距離を空けること）、世界保健機構（WHO）によるその他のガイドラインがあります。ウイルス拡大防止の為に、私たち一人ひとりが責任を果たす必要があります。

・第二に、感染曲線を平らにする政府の取組をサポートすること。これは、民間セクターや公共機関、開発団体、社会が一体となってこの脅威を食い止めることを意味します。

・第三に、希望のメッセージを人びとに伝えつつ、みんなが力を合わせてこの難局を乗り越えねばならない。また日常生活の中断は一時的であるばかりでなく、生活を継続していくために必要不可欠であるという認識を促すことです。

ロータリークラブの存在意義と究極の目的は、助けを必要とする地域社会に寄り添い、支援することです。世界は今、かつてないほどロータリーを必要としています。今を生きる私たちは、人間の幸福に対するこれほどの脅威を打ち砕くために、これまでよりも多くの手段を有しています。私たちには、ウイルス追跡の為のテクノロジー、これに打ち勝つための化学、結束した行動を呼びかけるためのメディア、そしてウイルスという敵に反撃する勇気があります。

私たちの決意とコミットメントを通じて、世界に希望と癒しを与えることが出来るのです。

この様にジョー・オテインガバナーは、訴えております。

私たちロータリアン一人ひとりが、自覚と誇りをもってコロナウイルス感染拡大阻止のため行動していきたいものです。今後のロータリアンの活動にご期待申し上げます。

最後になりますが、ロータリアンの皆さまと多くの人びとが笑顔で暮らせます様ご祈念申し上げ会長挨拶と致します。ありがとうございました。

【幹事報告】　幹事　竹村 信彦

◎12月20日（日）
地区職業・社会・国際奉仕委員会主催
「奉仕セミナー」開催にあたりお願い
＊出来る限りZoomでのご参加よろしくお願いいたします。

【委員会報告】　社会奉仕委員長　川崎 尭信



12月2日、9日と2週にわたり歳末助け合い募金へのご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで会員皆様より 27,000円の募金が集まりました。これに社会奉仕委員会の予算より30,000円を加えまして合計57,000円を歳末募金と金婚式の補助金として寄付いたした事をご報告いたします。重ねてご協力ありがとうございました。

【ご挨拶】　金親 博栄様　出井 清様



金親 博栄様（千葉南RC）
次年度、第4グループのグループ編成について現在までの経緯のご説明をして頂きました。

出井 清様（千葉南RC）
次年度、ガバナー補佐選考方法が輪番から指名制に変更についてご意見を頂きました。

広報･公共イメージ向上委員会・萬来 謙一・関 由美子